

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●NHKマイルCはラウダシオンがG I初制覇

5月10日(日)に行われたNHKマイルC(G I)ではラウダシオン(牡3歳/栗東・斉藤崇史厩舎)が優勝、重賞初制覇をG Iの大舞台で果たしました。同馬の父リアルインパクトは現3歳が初年度産駒となる新種牡馬で、産駒の重賞勝ちが初のこと。鞍上のミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は昨年もアドマイヤマーズでNHKマイルCを制しており、騎手の同レース連覇は史上初のこととなります。

### ●クリスタルブラック、オーソリティが故障

2020年京成杯(G III)の勝ち馬クリスタルブラック(牡3歳/美浦・高橋文雅厩舎)は、右前浅屈腱炎を発症していることが判明しました。今後9か月以上の休養を要する見込みです。また2020年テレビ東京杯青葉賞(G II)の勝ち馬オーソリティ(牡3歳/美浦・木村哲也厩舎)は、左第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

### ●ディライトフルの競走馬登録抹消

2019年京都ジャンプS(J・G III)の勝ち馬ディライトフル(騾9歳/栗東・大久保龍志厩舎)は、5月9日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績22戦7勝で、今後は福島県で乗馬となる予定です。

### ●2020 J R A ブリーズアップセール開催

4月28日(火)から30日(木)にかけて「2020 J R A ブリーズアップセール」が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、中山競馬場でのセール開催が取り止めとなり、調教動画の公開およびメールによる入札という方式で実施。購買登録(メール登録)馬主数は291名で、上場75頭(牡37頭・牝38頭)全馬が売却されました。総売却価格は7億2666万円、平均売却価格は牡馬が1039万円、牝馬が900万円で、最高価格をつけたのは牡馬がチャオプラヤ2018(父ヘニーヒューズ/近親にジャングルポケット)で2508万円、牝馬がダイワジャンヌ2018(父キズナ/母は現役時5勝)で3410万円でした(金額はいずれも税込)。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●グランコージーがダイヤモンドCを圧勝【各地の主要3歳重賞】

ダイヤモンドC(5月3日、水沢、1600m)は、船橋への一時移籍から復帰した2番人気のグランコージー(牡、父ベルシャザール)が、1番人気のスプリングCの覇者フレッチャビアンカを9馬身引き離して逃げ切り、2歳時の若駒賞、寒菊賞に次ぐ重賞3勝目。東京プリンセス賞(4月28日、大井、1800m、牝馬)は、3番手を進んだ3番人気のアクアリーブル(父パイロ)が直線に入って間もなく先頭に立って押し切り、桜花賞(浦和)に続いて南関東牝馬二冠を達成しました。駿蹄賞(5月1日、名古屋、1800m)は、2番手を追走した単勝1.3倍で圧倒的人気のニュータウンガール(牝、父スズカコーズウェイ)が直線入口で逃げ馬を捉えて重賞4連勝。黒潮皐月賞(5月3日、高知、1400m)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に並んだ2番人気の高知2歳王者レインズパワー(牝、父ヘニーヒューズ)が直線で抜け出して優勝、単勝1.5倍で断然人気の土佐春花賞馬リワードアヴァロンは3着でした。佐賀皐月賞(5月3日、佐賀、1800m)は、逃げたミスカゴシマ(牝、父トーセンブライト)が後続をクビ差振り切り、単勝1.2倍の支持に応えて5度目の重賞制覇を果たしています。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ドイツとフランスで競馬が再開

3月8日の開催を最後に取り止めとなっていたドイツにおけるサラブレッド競馬が5月7日にハノーファー競馬場で再開されました(無観客)。欧州のパートI国(サラブレッド競馬の主要競馬国=イギリス、アイルランド、フランス、ドイツ)の競馬は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために中止となっていたが、ドイツがいち早く再開を果たしました。また、3月17日から開催が中止されていたフランスの競馬もドイツと同じく無観客ではありますが、5月11日にパリロンシャン競馬場、トゥールズ競馬場、そしてコンピエーニュ競馬場の3か所で競馬が再開されました。イギリス、アイルランドの再開は未定です。

### ●米ジョッキークラブが種付け頭数制限を導入

アメリカ、カナダ、プエルトリコの血統登録機関である米ジョッキークラブは5月7日、前記3か国における年間の種付け頭数の上限を140頭にすることを発表しました。サラブレッドの遺伝子プールの多様性を高めるとともに、サラブレッドの長期的な健康を守ることが目的。2020年生まれ以降の種牡馬が対象となります。